国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.105)

2016年3月号 Mini-WAN

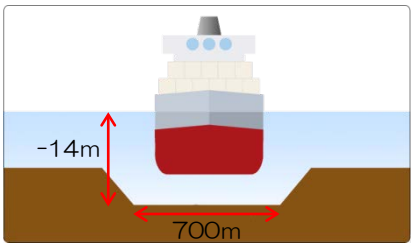
～三河港湾事務所だより～

船舶交通の更なる安全性向上を！

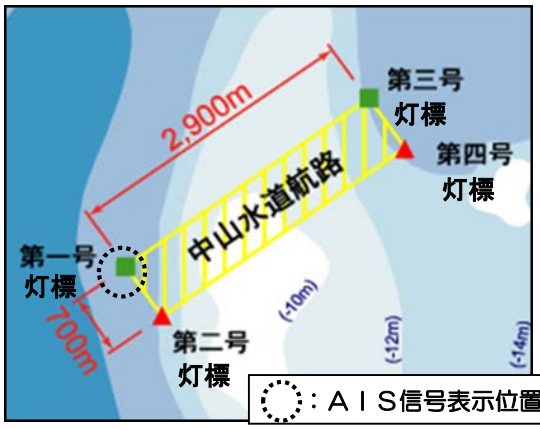
三河港湾事務所で管理を行っている中山水道航路では航路を明示する為、航路の四隅に「航路保全標識」（灯標）を設置しています。

船舶と航路保全標識との衝突事故を未然に防ぐ為、平成28年3月12日から、第一号灯標の位置情報をＡＩＳ電波で発信開始しました。

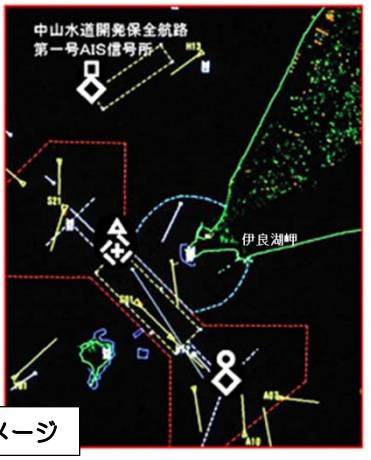
これにより、ＡＩＳ情報を表示可能な機種であれば航行船舶のレーダー等の画面上に同灯標の位置を示すシンボルマークが表示され、気象条件に左右される事なく位置を確認できるようになり、船舶航行の安全性向上が期待されます。



【中山水道航路の諸元】
深さ：水深14m
幅　：700m
長さ：2,900m



：ＡＩＳ信号表示位置



レーダー画面表示イメージ

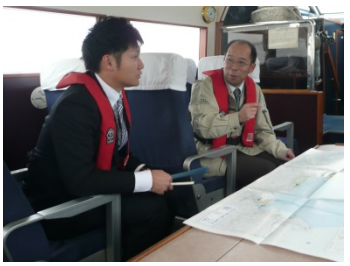
※ＡＩＳ（Automatic Identification System）
船舶の識別符号、種類、位置、針路、速力、航行状態及びその他の安全に関する情報を自動的にVHF帯電波で送受信し、船舶局相互間及び船舶局と陸上局の航行援助施設等との間で情報の交換を行うシステム。
国際航海に従事する300総トン以上の船舶、国際航海に従事しない500総トン以上の船舶等、一定条件の船舶に対しては、ＡＩＳの搭載が義務付けられている。

豊橋技術科学大学から実習生が来ました　～就業体験レポート～

★このレポートは実習で来ていただいた豊橋技術科学大学の瀧沢凌昌さんに書いていただきました。

1月から約2ヶ月間、三河港湾事務所で就業体験実習をさせていただきました。卒業研究では六条潟の地形調査や植生調査を通し、干潟とその背後の砂浜の関係性について研究を行いましたが、今回の実習でも三河湾の環境に関する業務について学ばせていただきました。

実習前半は、港の役割や三河港湾事務所の事業について勉強しながら、環境学習用資料の作成を行いました。また、三河港湾事務所が所有する港湾業務艇「しおさい」に乗り、港湾施設の見学もさせていただきました。安全パトロールに同行させていただいた時は、工事現場の安全管理の重要性について学ぶことができました。



そのほか、衣浦港の周辺施設、東幡豆のトンボロ干潟や西浦地区の人工干潟などの見学もさせていただき、愛知県には三河港以外にも重要な施設や自然環境があることを実際に見て知ることができました。

実習の後半では、三河湾内の7箇所で行っているアサリ浮遊幼生・着底稚貝調査のデータの整理を行いました。卒業研究で六条潟の調査を行っていたため、六条潟だけでなく、人工干潟などもアサリの生息にとっては重要な干潟であることを知って、とても興味深かったです。

2ヶ月間という長期間の実習を通じて、上司や所内の方々との情報共有を行うことの重要さなども学ぶことができ、貴重な経験となりました。

三河港湾事務所が工事安全大会を開催しました

2月9日(火)、中部地方整備局三河港湾事務所は、港湾工事における安全対策の充実、安全意識の向上、安全管理のより一層の徹底を図り、無事故・無災害の港づくりの現場にすることを目的として「三河港湾事務所　工事安全大会」をライフポートとよはしにて開催しました。

大会の開催状況

大会には三河港において工事を担当する神野建設㈱とあおみ建設㈱の2社とその協力会社、講師、発注者の計４１名が参加し、豊橋労働基準監督署安全衛生課の伊藤課長と三河海上保安署港務係の三浦係長による講演、中部地方整備局港湾空港整備・補償課の牛場課長補佐による講話及び工事を担当する２社による工事安全に関する報告が行われました。

最後に、参加者全員で『最後まで　ゼロ災害でがんばろう』の唱和を行い、工事安全意識の向上を誓い合って終了しました。

三河港湾ぎゃらりー

作品No.43　衣浦・西防波堤

海とみなとの相談窓口

全国共通フリーダイヤル
おおいに　よくなれ　みなと
0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00
（土・日・祝祭日を除く）
※一部の地域を除きます。

国　土　交　通　省
中 部 地 方 整 備 局

三河港湾事務所
〒441-8075　愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL　0532-32-3251　　FAX　0532-32-5049

衣浦港事務所
〒475-0831　愛知県半田市11号地2番地
TEL　0569-21-2311　　FAX　0569-21-2312

http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/